



## 総師長あいさつ

当センターは、中河内医療圏で救急医療・災害医療のかなめとして地域医療機関・救急隊と連携し、Dr.Carで現場に赴き、救命活動や自施設での治療を行っています。治療の現場では、患者様を中心に、医師や看護師、他職種のスタッフがチームを組み、毎朝カンファレンスや業務調整を行い、それぞれが専門性を発揮しています。看護部では、安全・安心で信頼される質の高い看護、患者サービスの向上、業務の効率化と職員満足度の向上を目標に、新卒からベテランまで自己目標を立てて、それぞれがスキルアップとキャリアアップに取り組んでいます。また、認定研修やCNS(専門看護師)コースへの支援も積極的に行っています。このような充実した環境で、私たちと一緒に働きませんか。

看護総師長 芦阪 厚子



## 基本理念

- 1, 中河内救命救急センターは中河内医療圏の救急医療のかなめとして、地域医療機関、救急隊と連携して地域医療に貢献します。
- 2, 中河内救命救急センターは、常に患者様のためにを念頭に、患者様にとって最善の医療を提供します。
- 3, 私たち中河内救命救急センターの職員は、使命感と誇りを持ち、絶え間ない知識、技量の研鑽に励みます。

## 看護部基本理念

- 1, 救急医療機関としての使命を担い、チーム医療を行う中で、常に患者様および家族様の立場にたち、生命と人格を尊重した心のこもった看護サービスを提供する。
- 2, 専門職として常に看護の本質を追究し続ける姿勢を持ち、看護の発展に寄与する。

## 看護部目標

- 1, 常に患者様の安全・安楽に心がけ、信頼できる質の高い医療を提供する。
- 2, 看護の専門性を活かして、患者サービスの向上に努める。
- 3, 看護ケアに専念できる体制作りと、生き生きと働き続けられる職場環境を整備する。

## 教育方針

- 1, ラダー別研修の充実化を目指し、各レベルに求められる実践能力、組織別役割遂行能力を向上させる。
- 2, 臨床看護実践を啓発し、看護の科学的追求(看護研究)へとつなげる。

## 教育方針メッセージ

看護部では、「看護学＝人間学」との考えのもと、患者様に対する生命擁護と安全管理を基盤に、回復を支える看護が提供できる救急看護師を育成しています。年齢層・疾患が幅広い救急分野の現場は、まさに生命の分岐点です。そのため、看護の際には、患者様と家族様、医療技術のことなど多方面を考慮することが大切です。この「考える看護」を幹に、個々の秘めた力を引き出し、自律を促進する教育活動を目指しています。

## 医療の最前線を支える診療環境

一刻を争う治療のため、初療室の隣には、24時間365日にわたって開頭・開胸・開腹および整形外科の手術が可能な手術室2室を設置。MRI室をはじめCT室、X線TV室、血管造影室、臨床検査室など、充実した治療環境を整えています。



手術室



血管造影(アンギオ)



MRI



CT

看護部 主査 富岡 小百合

急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師

院内・院外の看護師教育研修と年間計画を担当。救急看護に関する教育機関や学会などで急性期看護の講義や研修を行うなど、院外活動も積極的に行う。

